

紋別シンポジウムの感想

北海道大学大学院水産科学院 修士1年
山野 将輝

・紋別シンポジウムに参加した感想

紋別シンポジウムは自分にとって初めての公の場での発表でした。また、英語での発表も今回が初めてでした。要旨や発表スライドを英語で作成することには日本語での発表準備とは異なる難しさがあり、要旨の文章やスライドの構成などを見返してみると詰めが甘い部分が多くあるように感じられます。発表に関しても、話し方や視線など、改善すべき点が山ほどあります。実際にシンポジウムに参加してみて見つけた課題点は、今後の研究活動に活かしていきたいと思います。しかし、内容に対しては興味を持って聞いてもらえたように感じており、自分の研究の面白さを共有できたことは非常にうれしく思っています。このことは今後の研究活動を進めていく上での良いモチベーションになるかと考えています。また、会場での新しい人との出会いや、紋別観光も楽しむことが出来ました。総じて多くのものが得られた良い経験になったかと思えます。



・今後の抱負

シンポジウムでの発表の段階では分析や解析が未完了であったために深い議論が出来なかった部分がありました。今後また研究成果を発表する機会があった際には、さらに充実した結果とより深い考察を話すことができるよう、研究活動を進めていきたいと考えています。また、今回のシンポジウムで見つけた課題点を基に、発表のスキルも向上させると同時にさらに念入りな準備を行い、より良い発表が出来るようにしたいです。